

4 平成 21 年度 A 地区の概要

A 地区では、13 世紀後半～14 世紀前半の堀を持つ居館が見つかり、内部から掘立柱建物^{きまかん}25 棟・深さ 5.4m の大型井戸などを確認しました。出土品には県内 3 例目となる鎌倉後期の中国天目^{ちゆうごく てんもく}や青磁瓜形合子^{せいじ うりがたごうす}などの貴重な舶載品^{はくさい}が含まれ、有力者の存在がうかがわれます。また、大型井戸から側板^{がわいた}・棧木^{さんぎ}・隅柱^{すみばしら}・曲物^{まげもの}などの木製品が約 600 点出土しました。



A 地区遺構全体図（赤：掘立柱建物、青：井戸、黄：堀） 1:800



A 地区全景（西から）



深さ 5.4m の大型井戸



中国天目（左）と瀬戸天目



青磁瓜形合子



大型井戸の井戸側に用いられた側板・棧木・隅柱・曲物。これらの年輪年代法による分析の結果、井戸はAD1301（正安 3）年に作られたと考えられます。